

## 横浜市内の私立高校でリモートによる体験学習



リモートで講話中の平原所長

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 陸尉）は、令和3年2月5日（金）、私立クラーク記念国際高校の1・2年生に対し、リモートによる体験学習を実施した。当日は24名の学生が、自宅パソコンの前にスタンバイしていた。前段は所長による「自衛隊の仕事」と題して講話を行い、後段は赤間広報官による「ロープ結案」と「南スーダンでの体験談」を実施した。早速、国の防衛について説明を始めるも、多くの学生が真剣にうなずき話を聞き入っていた。災害派遣の話ではDVDを併用し、ヘリやボートでの救助活動など現場での活躍を映すと画面に近寄る姿が見られた。質疑応答では「自衛隊の訓練は厳しいと聞きますが、正直キツイですか」「災害派遣の際に最も注意を払うことは何ですか」などと、自衛隊の活動に興味を持っているようだった。

ロープ結案の説明では、参加者はそれぞれ準備していたロープを取り出し、教諭も教場で一緒に「もやい結び」など広報官の実演を見ながら真剣に取り組んでいた。南スーダン派遣時の経験談では、現地での人々の様子や自衛隊の活動を紹介しながら、チャットでの質問にも広報官は丁寧に答えていた。教育終了後の教諭との懇談では、次回早々の教育をお願いされるなど、今後の学校との連携継続を確認できた。

横浜中央募集案内所は、「今後も学校と連絡を密にとり、継続的な広報に努め、募集成果につないでいきたい」としている。



横浜市内の私立高校でリモートによる体験学習



教諭の皆さんも「ロープ結案」を体験

## 入隊予定者が武山駐屯地を見学

「これまでの不安も直接説明を聞いて、安心して入隊できる！」



陸上自衛隊装備品を見学

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 陸尉）は、令和3年2月15日（月）今春入隊予定者を陸上自衛隊武山駐屯地見学案内した。当日は、神奈川地本から約100名が参加し、駐屯地の各施設について説明を受けた。初めに全般説明を受けた後、生活隊舎に移動し生活スペースの説明を受け、自分の入隊後の生活をイメージしてもらった。次に入隊後の訓練など教育内容について、DVDを織り交ぜながら説明を受けた。最後に陸上自衛隊の装備品について展示説明を受け、約2時間の部隊見学はあっという間に終了した。参加者からは「これまで入隊に不安もありましたが、直接説明を聞いて安心しました。普通科部隊に行きたいです」と戦闘職種を希望し、まだ入隊前ながらも意欲が感じられた。また「実際に生活スペースを見られてイメージでき、教育内容も詳しく聞けて良かった。早く入隊したいです」との感想を聞いて、本見学の目的は達成できた。

横浜中央募集案内所は、「今後もこのようなつなぎ広報に積極的に参加し、入隊予定者の不安解消と入隊確度の向上を図り、募集成果につないでいきたい」としている。



担当自衛官の全般説明を聞く参加者